

# 2022年度 新理事選出選挙立候補者名簿

(五十音順)

No.	氏名	所属	抱負
1	秋山 久尚	聖マリアンナ 医科大学脳科学 (脳神経内科)	私は長年、本学会の代議員を務め、頭痛の教育・診療・研究に取り組みながら、地域での頭痛診療の普及に尽力して参りました。また、本邦でのコロナ頭痛診療、頭痛遠隔医療、各種臨床治験にも積極的に関わり、頭痛医療の発展・拡充に貢献しております。今後も、本学会の発展に注力することで、頭痛の教育・診療・研究を更に発展させ、我が国でのコモンディゼースとしての頭痛診療の確立に微力ながら貢献できるよう努力する所存です。
2	栗木 悦子	鳥取県済生会 境港総合病院 神経内科	私は日本頭痛学会専門医、指導医、代議員として頭痛診療の向上を目指してまいりました。現在、ガイドライン委員会、国際頭痛分類委員会、専門医委員会の委員を拝命しておりますが、引き続き学会活動の活性化に寄与できるよう努めます。地方の課題となっております後進の育成にも取り組み、頭痛診療の均霑化に貢献できるよう尽力いたします。さらにはプライマリケア医との連携や市民に対する啓発活動にも注力していく所存です。
3	伊藤 康男	埼玉医科大学 脳神経内科	私は大学病院の頭痛外来で頭痛診療に従事して参りました。また、頭痛の診療ガイドライン委員、診療向上委員、広報委員として微力ながら頭痛診療の啓発活動に関わってまいりました。今後も頭痛で苦しむ患者さんへの診療に邁進し、学会活動を通じて頭痛診療の啓発活動に貢献していきたいと思っております。
4	大熊 壮尚	聖マリアンナ 医科大学 川崎市立多摩病院 脳神経内科	私は、日本頭痛学会で代議員として、ガイドライン委員、総務委員、専門医試験委員を務め、頭痛診療の大切さを理解し、その啓蒙活動に長年携わって参りました。今後も頭痛診療、治療、研究に一段と励み、本学会の発展に努めてまいりたいと思っております。また今後も頭痛診療に携わる医師の育成と、一人でも多くの頭痛に悩む患者さんに手を差し伸べられるよう尽力する所存でございます。どうか御支援のほど宜しくお願い申し上げます。
5	木村 和美	日本医科大学 脳神経内科	私は、脳卒中が専門の脳神経内科医です。脳卒中は、頭痛と関連が強い疾患です。生命に関わるくも膜下出血、脳出血、脳動脈解離、RVCS、脳塞栓症などがあります。また、脳梗塞と関連が強い卵円孔開存や本態性血小板血症と頭痛の研究も行っています。理事に就任することができましたら、特に、脳卒中と頭痛に関して、本学会の発展に尽力したいと思います。また、頭痛に関して市民啓発にも力を入れ社会貢献したいと思います。

# 2022年度 新理事選出選挙立候補者名簿

(五十音順)

No.	氏名	所属	抱負
6	柴田 護	東京歯科大学 市川総合病院 神経内科	東京歯科大学市川総合病院神経内科で頭痛の診療と臨床研究を行っております。本学会の活動には、「頭痛の診療ガイドライン 2021」の作成や専門医育成事業を中心に携わってまいりました。本年6月には Headache Master School Japan の委員長を務めさせていただきます。新しい治療法の導入や国際的活動の推進などを通じて日本の頭痛医療をさらに発展させるべく今回理事に立候補することといたしました。
7	柴田 靖	筑波大学水戸地域 医療教育センター 脳神経外科	脳神経外科医、大学教員として頭痛診療、教育、研究に取り組んでいる。教育では日経メディカルの頭痛外来研修道場や著書；この1冊で極める頭痛の診断学を出版し、全国の講演会などで頭痛診療の啓発に努めてきた。研究では片頭痛や外傷性頭痛などのMR画像診断の科研費を取得し、論文を発表してきた。日本頭痛学会では専門医委員会委員を務めている。今後も日本にふさわしく、世界に向けての臨床、教育、研究を進めていきたい。
8	西山 和利	北里大学 脳神経内科学	本邦における頭痛診療の課題は頭痛の専門家不足であり、より多くの脳神経内科医のこの分野への参画が望まれます。私は脳神経内科医の基盤学会である日本神経学会において総務幹事ならびに理事の任にあり、これまでも日本頭痛学会と日本神経学会の懸け橋にならんと努力して参りました。日本頭痛学会の理事に選出いただけたあかつきには、頭痛の診療、教育、研究に取り組む医師を増やすために更なる努力をする所存です。
9	矢部 一郎	北海道大学大学院 医学研究院 神経病態学分野 神経内科学	私は、頭痛医療の発展に向けて、北海道頭痛セミナー運営等、北見公一現理事と伴に取り組んできました。また、国際頭痛分類委員会委員でもあります。北大医学部や北大病院のみならず道内の研修病院において、頭痛診療についての講義や講演を担当し、卒前および卒後教育にも積極的に取り組んでいます。今後もわが国の頭痛診療・教育・研究への取り組みに積極的に参画し、日本頭痛学会の発展に貢献していきたいと考えています。
10	山中 岳	東京医科大学病院 小児科・思春期科	頭痛は成人のみならず、子ども達にも大きな影響を与えます。私は、日本頭痛学会の専門医・指導医、代議員（ガイドライン委員）、頭痛診療に関心をもつ小児科医の集い世話人を務めております。本總會や日本小児科学会の教育講演・シンポジウム、HMSJの講演を通して小児の頭痛診療の啓発に努めて参りました。社会に還元することを自身の理念とし、小児科医として微力ながら日本頭痛学会の発展に寄与したく立候補させていただきます。